

第39期

中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

株式会社 **テ-オ-シー**



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は平成16年9月30日をもちまして第39期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに中間事業報告書をお届けいたします。

平成16年12月

代表取締役社長 **大谷卓男**

### CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業の概況	2
企業集団の部門別の概況	3
連結営業成績の推移	6
株式事項	7
中間連結貸借対照表	8
中間連結損益計算書／ 中間連結剰余金計算書	9
中間連結キャッシュ・ フロー計算書の要旨	10
中間貸借対照表	11
中間損益計算書	12
会社の概況／役員	13

## 営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、輸出や民間設備投資の増加により、企業収益の改善に広がりが見られ、また、雇用情勢は厳しさが残るものの改善しつつあり、個人消費も猛暑・オリンピック需要を背景とした盛り上がりもあり、景気は回復基調で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは、企業理念に則りグループを挙げて各事業の特性、付加価値性を活かした営業活動と、セグメント業績管理の強化に取り組んでまいりましたが、当中間期の連結売上高は8,618百万円（前年同期比2.5%減）となりました。利益面におきましては、営業利益2,651百万円（前年同期比4.3%減）、経常利益2,589百万円（前年同期比3.7%減）、中間純利益は、投資有価証券の評価損等を特別損失として計上したことにより953百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

不動産事業では、オフィスビル市況におきまして、東京都心の新築大型ビルを中心としたオフィスビル需給の改善を背景として、業界全体の空室率は低下傾向にあるものの、賃料水準は回復までには至らず、一方で、市場の二極化が進みました。

このような状況下、当社におきましては、所有ビル個々の特性の向上と時代のニーズに対応するため継続的にリニューアル、美化対策等を実施し、付加価値を高めることに注力してまいりました。

また、引続き入居テナントへの管理・運営面での高サービスと低コストの両立を推し進めると同時に、ビルの特性に応じたテナント募集活動に取り組んでまいりましたが、入居率は96.5%（前期末比0.3%減）となり、新規テナントにおける賃料水準もいまだ上昇に転ずる状況にはなく、ビル賃貸の売上は前中間期を下回りました。付帯事業であります展示場の売上は、新規顧客の開拓に努めたことから、展示場・会議室等の使用料収入は前中間期を上回りましたが、宴会収入を含めた売上合計では、前中間期を下回りました。駐車場の売上は、経費の削減に伴う定期駐車契約等の減少により、前中間期を下回りました。

以上の結果、当事業部門の売上高は、5,707百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は2,646百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

リネンサプライ事業では、主たる取引先であるホテル業界は、前中

間期はSARSの影響を大きく受けましたが、今年度はなく、また企業業績の回復等を背景に、業績が改善し、リネン等に対する需要が回復した結果、売上高は1,010百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は43百万円（前年同期比28.1%増）と増収増益となりました。

その他の事業では、製菓事業は、前中間期に比べ若干ですが増収となりました。スポーツクラブ事業は、引続き順調に推移しており、安定的な収益構造となっております。温浴施設事業は、同業他社の新規参入の影響が見られたものの、営業強化に努めたことから若干の増収となりました。商品販売事業ならびに飲食事業では、「ROX-2」の建替え工事期間中における営業休止の影響により減収となりました。ビル管理関連サービス事業は、内装請負工事の増加により増収となりました。環境保全・省エネルギー事業は、減収となりました。また、今年度より情報処理関連事業を手掛ける株式会社I-TINK（当社出資比率96.7%）を連結子会社といたしました。

以上、その他の事業の合計での売上高は1,900百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は58百万円（前年同期比27百万円増）となりました。

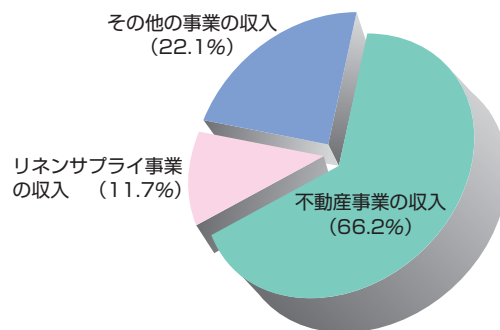
なお、当中間期の単独業績につきましては、売上高6,544百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益2,645百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益2,593百万円（前年同期比3.5%減）、中間純利益は、投資有価証券の評価損等を特別損失として計上したことにより、1,008百万円（前年同期比35.8%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 企業集団の部門別の概況

### ■部門別売上高及び構成比

●不動産事業	5,707百万円
●リネンサプライ事業	1,010百万円
●その他の事業	1,900百万円



### 不動産事業部門

テーオーシーは、企画・開発から運営に至る一貫経営により、新しい時代の要請に応える都市づくりに取組んでおります。ビル事業を通じた社会への貢献を目指し、躍動感にあふれ、快い空間を皆様に提供できるよう、業容の拡大に努めております。

#### ■TOCビル (写真奥)

東京都品川区西五反田 7-22-17  
昭和45年2月竣工 174,013.32m<sup>2</sup> (延床面積)

#### ■第2TOCビル

東京都品川区西五反田 7-21-11  
昭和51年9月竣工 12,741.02m<sup>2</sup> (延床面積)

#### ■第3TOCビル

東京都品川区西五反田 7-23-1  
昭和46年1月竣工 (昭和57年6月改修)  
7,979.56m<sup>2</sup> (延床面積)

#### ■TOCフロントビル (写真手前)

東京都品川区西五反田 7-22-17  
昭和58年1月竣工 4,428.79m<sup>2</sup> (延床面積)

#### ■第5TOCビル

東京都品川区西五反田 7-21-1  
昭和62年8月竣工 4,456.90m<sup>2</sup> (延床面積)



### TOCビル

活気あるビジネスの場を提供し続けているTOCビルは、ファッション、インテリア、生活雑貨などの多様な“商品と情報”が集まる多機能施設として、商業活動をサポートしています。変動の激しい商業シーンで、入居するテナントの皆様とともに、お越しになる多くのお客様に喜んでいただけるマーケットづくりに取組み、さらに活力ある商業施設を目指しています。

#### ■TOC展示場・会議室

- グランドホール  
TOCビル13F 5,236.72m<sup>2</sup>
- 特別ホール(写真)  
TOCビル13F 1,149.89m<sup>2</sup>
- 小展示場  
TOCビルB1F 422.11m<sup>2</sup>
- 会議室(全8室)  
TOCビルB1F、13F 519.17m<sup>2</sup>



## 大崎ニューシティ

副都心開発事業の先駆けとしてオープンした大崎ニューシティは、当社の所有するオフィス棟、ホテル棟をはじめとして、利便性の高いビジネスゾーンとしてご利用いただいております。

近年、大崎・品川地区の都市再開発が活発に行われ、「りんかい線」、「埼京線」、「湘南新宿ライン」の大崎駅乗入れや東海道新幹線の品川駅乗入れなどにより、都内の重要拠点として、さらにその価値が高まっています。

#### ■オフィス棟(写真左手前)

東京都品川区大崎 1-6-1  
昭和62年1月竣工  
27,592.87m<sup>2</sup>(延床面積)

#### ■ホテル棟(写真左奥)

東京都品川区大崎 1-6-2  
昭和62年1月竣工  
21,262.56m<sup>2</sup>(延床面積)



## 浅草ROX

東京浅草の再開発をテーマに大型ファッションビルとしてオープンいたしました浅草ROXは、地域とともに成長し続けています。ショッピングゾーンにはじまり、スポーツクラブ、フットサルコート、温浴施設、アミューズメント施設など、伝統ある地域社会の中で、新たな息吹を次々と生み出すことで、様々な楽しさと健やかな生活を提案し、浅草地域内外の多くのお客様に親しまれております。

また、地域の皆様の身近なニーズにお応えできる、より活気あふれる商業施設として生まれ変わるべく、リニューアル工事を進めてまいりましたROX-2Gは、平成16年9月にオープンし、すでに多くのお客様にご愛顧いただいております。

#### ■ROX(写真上)

東京都台東区浅草 1-25-15  
昭和61年8月竣工 36,498.84m<sup>2</sup>(延床面積)

#### ■ROX-2G(写真下)

東京都台東区 1-24-1  
平成16年9月竣工 1,445.36m<sup>2</sup>(延床面積)

#### ■ROX-3

東京都台東区浅草 1-26-5  
平成7年8月竣工 3,449.50m<sup>2</sup>(延床面積)

#### ■ROXドーム

東京都台東区浅草 1-27-8  
平成10年7月竣工 1,293.76m<sup>2</sup>(延床面積)



全面リニューアルオープンした「ROX-2G」

## リネンサプライ事業部門

### リネンサプライ事業

一流ホテル等へシート、タオル等を毎日クリーニングし、リネン供給させていただいております。生産性の向上による価格低減や、技能水準の向上により高品質を維持し、循環型社会の構築に寄与しております。また、ハイクオリティでリーズナブルな製品は、多くのお客様にご支持いただいております。



## その他の事業部門

### 製薬事業

星製薬ブランドによる長年の実績をもとに「人にやさしいメディカル」をテーマに、人が本来持っている自然治癒力をより活性化させる医薬品・健康食品づくりに邁進しております。また、当社が得意としております植物エキス配合の独自のノウハウによるスキンケア製品などの開発にも注力しております。



ホシ 植物エキス 多様な健康食品

### スポーツクラブ事業ならびに温浴施設事業

“浅草ROXまつり湯”として親しまれております健康ランドと、“ROX FITNESS CLUB begin”としてご愛顧いただいておりますフィットネスクラブの運営を通じて、「お客様に、楽しく喜んでいただき、健康になっていただける場」を提供いたしております。



オリーブバスアロマオイル「ティファロ」

### 商品販売事業ならびに飲食事業

当社グループが保有するビルの小売ゾーンにおける直営店舗において、一般消費者と直接接することにより、多様なニーズに対応した品揃えと、魅力ある店舗づくりを行い、ビルの付加価値を高めております。



TOLの運営する浅草ROXまつり湯（露天風呂）

### ビル管理関連サービス事業

当社グループが保有するビルにおいて、たばこ・飲料品等の販売から入居されているテナントの皆様のお部屋の内装工事の施工に至るまでの事業を行い、日々訪れるお客様や入居されているテナントの皆様にご喜んでもらえる、極めの細やかなサービスをっております。

### 環境保全・省エネルギー事業

ビル設備の管理・運営において、効率化、省エネルギー化、また環境保全に長年取り組んできた当社グループにおいて開発した、空調設備用省エネ製品“スーパーマイザー”などを、社会に広く販売しております。



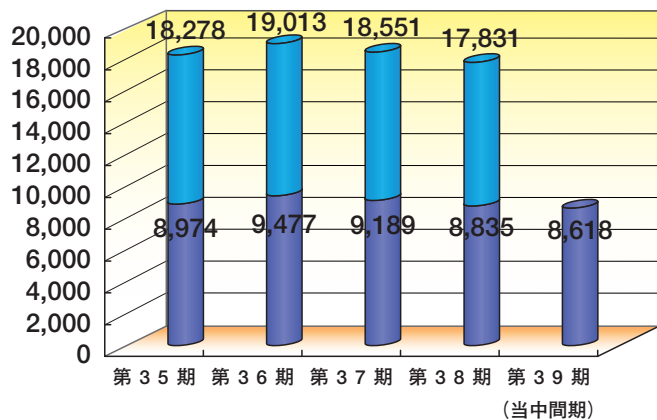
TOLの運営するROXフィットネスクラブ“begin”（プール）

### 情報処理関連事業

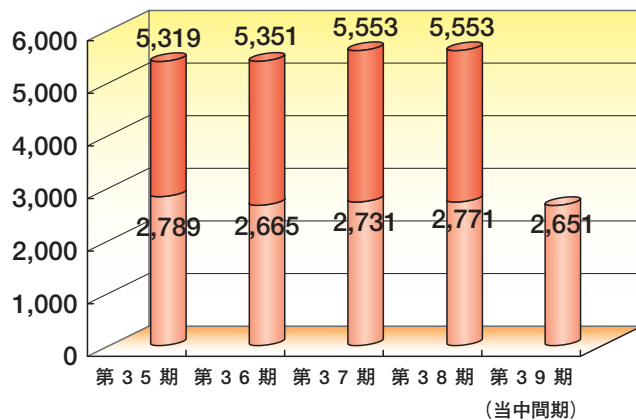
長年ビルの運営・管理の現場にたずさわってきた当社グループのノウハウを活用し、ビル管理等の分野におけるより先進的かつ利便性の高いシステムの開発・構築を行っております。

# 連結営業成績の推移

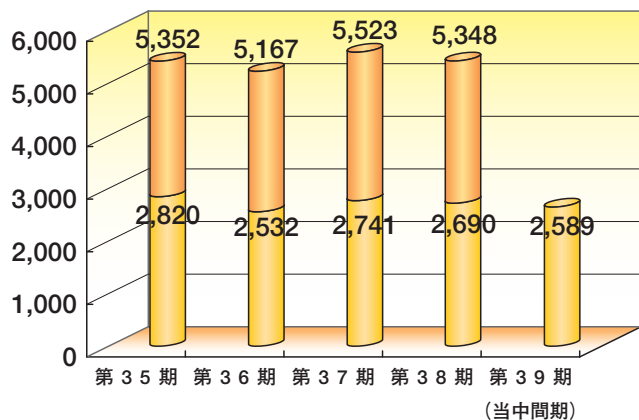
売上高 (単位：百万円)



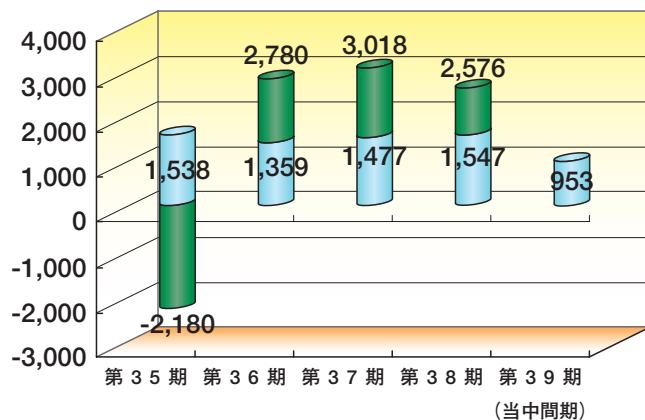
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



中間(当期)純損益 (単位：百万円)



# 株 式 事 項

(平成16年9月30日現在)

■発行する株式の総数 271,217,000株

■発行済株式総数 66,770,416株

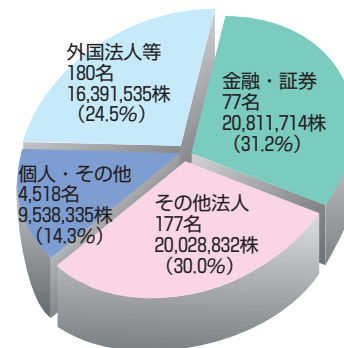
■株主総数 4,952名  
(前期末比177名減)

■株主1人当たり平均持株数 13,483株

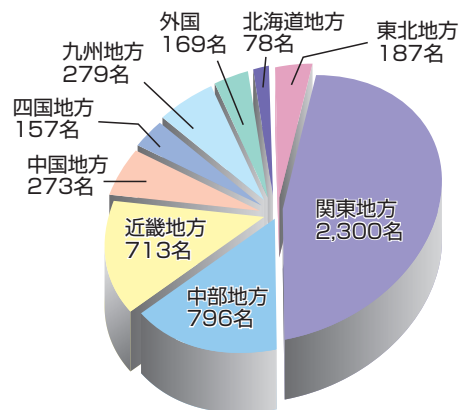
## ■大株主(上位10名)

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
	千株	%	千株	%
株式会社ニューオータニ	8,395	12.97	527	9.49
有限会社大谷興産	6,422	9.93	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,929	9.16	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,013	6.20	—	—
有限会社オオタニファンド	3,135	4.85	—	—
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	3,090	4.78	—	—
大 谷 正 子	1,830	2.83	—	—
日本生命保険相互会社	1,775	2.74	—	—
ステートストリートバンクアトラストカンパニー	1,631	2.52	—	—
株式会社新生銀行	1,403	2.17	—	—

## ■株式の所有者別状況



## ■地域別株主数



# 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成15年9月30日現在)	当中間期末 (平成16年9月30日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>	<b>22,108</b>	<b>14,273</b>	<b>14,908</b>
現金及び預金	16,166	9,228	9,751
受取手形及び 営業未収入金	892	875	924
有価証券	400	70	60
たな卸資産	581	576	548
繰延税金資産	3,784	3,300	3,258
その他	288	239	376
貸倒引当金	△ 6	△ 16	△ 12
<b>固定資産</b>	<b>69,883</b>	<b>70,318</b>	<b>71,087</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(53,280)</b>	<b>(53,553)</b>	<b>(53,608)</b>
建物及び構築物	15,282	14,412	14,650
土地	37,368	38,269	38,297
建設仮勘定	148	475	239
その他	480	395	421
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(7,055)</b>	<b>(7,042)</b>	<b>(7,050)</b>
借地権	6,966	6,966	6,966
その他	88	76	84
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(9,547)</b>	<b>(9,722)</b>	<b>(10,427)</b>
投資有価証券	4,295	3,929	5,006
繰延税金資産	149	530	190
その他	5,101	5,289	5,230
貸倒引当金	—	△ 27	—
<b>資産合計</b>	<b>91,991</b>	<b>84,591</b>	<b>85,995</b>

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成15年9月30日現在)	当中間期末 (平成16年9月30日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>	<b>13,322</b>	<b>6,567</b>	<b>7,629</b>
買掛金等	699	686	996
短期借入金	8,920	2,095	3,685
1年以内に返済 予定の長期借入金	992	992	992
未払法人税等	1,025	1,201	343
賞与引当金	97	95	92
その他	1,588	1,496	1,519
<b>固定負債</b>	<b>22,762</b>	<b>21,055</b>	<b>21,786</b>
長期借入金	12,694	11,701	12,197
預り保証金	9,541	8,794	9,042
退職給付引当金	158	174	158
役員退職慰労引当金	140	159	151
その他	227	225	236
<b>負債合計</b>	<b>36,085</b>	<b>27,623</b>	<b>29,415</b>
<b>[少数株主持分]</b>			
<b>少数株主持分</b>	<b>310</b>	<b>311</b>	<b>304</b>
<b>[資本の部]</b>			
<b>資本金</b>	<b>11,768</b>	<b>11,768</b>	<b>11,768</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>9,326</b>	<b>9,332</b>	<b>9,334</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>35,233</b>	<b>36,235</b>	<b>35,903</b>
その他有価証券 評価差額金	45	50	28
自己株式	△ 778	△ 730	△ 758
<b>資本合計</b>	<b>55,595</b>	<b>56,657</b>	<b>56,275</b>
<b>負債・少数株主持分 及び資本合計</b>	<b>91,991</b>	<b>84,591</b>	<b>85,995</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	当中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	前期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
売上	高	8,835	8,618	17,831
売上原価	価	4,870	4,768	9,912
売上総利益		3,964	3,850	7,919
販売費及び一般管理費		1,192	1,198	2,365
営業利益		2,771	2,651	5,553
営業外収益		80	71	112
営業外費用		161	134	317
経常利益		2,690	2,589	5,348
特別利益		293	—	294
特別損失		256	855	920
税金等調整前中間(当期)純利益		2,727	1,733	4,721
法人税、住民税及び事業税		1,037	1,171	1,511
法人税等調整額		147	△ 397	644
少数株主利益		—	6	—
少数株主損失		4	—	10
中間(当期)純利益		1,547	953	2,576

## 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	当中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	前期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		9,326	9,334	9,326
資本剰余金増加高		0	—	7
自己株式処分差益		0	—	7
資本剰余金減少高		—	1	—
自己株式処分差損		—	1	—
資本剰余金中間期末(期末)残高		9,326	9,332	9,334
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		34,063	35,903	34,063
利益剰余金増加高		1,547	953	2,576
中間(当期)純利益		1,547	953	2,576
利益剰余金減少高		377	621	737
配当金		359	359	719
役員賞与		18	18	18
連結会社増加に伴う剰余金減少高		—	243	—
利益剰余金中間期末(期末)残高		35,233	36,235	35,903

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	期別		
	前中間期 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	当中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	前中期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,479	2,442	3,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	△ 574	△ 2,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,328	△ 2,416	△ 3,727
現金及び現金同等物の増減額	3,647	△ 549	△ 3,148
現金及び現金同等物の期首残高	12,842	9,694	12,842
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	26	—
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	16,490	9,171	9,694

# 中間貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成15年9月30日現在)	当中間期末 (平成16年9月30日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>	<b>19,823</b>	<b>11,718</b>	<b>12,403</b>
現金及び預金	14,991	7,523	8,125
受取手形	—	1	2
売掛金	68	—	—
営業未収入金	500	444	460
有価証券	20	70	60
たな卸資産	99	2	3
前払費用	99	99	81
繰延税金資産	3,779	3,301	3,254
その他	269	301	423
貸倒引当金	△ 4	△ 27	△ 8
<b>固定資産</b>	<b>70,275</b>	<b>71,142</b>	<b>71,603</b>
(有形固定資産)	(52,415)	(52,619)	(52,653)
建物	14,738	13,835	14,069
土地	37,096	37,958	37,985
建設仮勘定	148	475	239
その他	432	350	358
(無形固定資産)	(7,023)	(7,016)	(7,019)
借地権	6,966	6,966	6,966
施設利用権	47	44	45
ソフトウェア	9	5	7
(投資その他の資産)	(10,836)	(11,506)	(11,930)
投資有価証券	3,725	3,652	3,644
関係会社株式	1,945	2,161	2,974
繰延税金資産	153	520	172
その他	5,070	5,249	5,171
貸倒引当金	△ 58	△ 77	△ 31
<b>資産合計</b>	<b>90,099</b>	<b>82,860</b>	<b>84,007</b>

(単位：百万円)

期別 科目	前中間期末 (平成15年9月30日現在)	当中間期末 (平成16年9月30日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>	<b>12,483</b>	<b>5,586</b>	<b>6,688</b>
買掛金	106	62	48
短期借入金	8,500	1,650	3,250
1年以内に返済 予定の長期借入金	992	992	992
未払金	242	220	528
未払消費税等	102	50	98
未払法人税等	990	1,158	322
未払費用	140	133	120
前受金	771	754	703
預り金	575	504	571
賞与引当金	61	59	54
<b>固定負債</b>	<b>22,533</b>	<b>20,843</b>	<b>21,567</b>
長期借入金	12,694	11,701	12,197
預り保証金	9,400	8,675	8,912
退職給付引当金	70	81	70
役員退職慰労引当金	140	159	151
その他	227	225	236
<b>負債合計</b>	<b>35,016</b>	<b>26,430</b>	<b>28,256</b>
<b>[資本の部]</b>			
<b>資本金</b>	<b>11,768</b>	<b>11,768</b>	<b>11,768</b>
<b>資本剰余金</b>			
資本準備金	9,326	9,326	9,326
その他資本剰余金	0	6	7
<b>資本剰余金合計</b>	<b>9,326</b>	<b>9,332</b>	<b>9,334</b>
<b>利益剰余金</b>			
利益準備金	2,942	2,942	2,942
任意積立金	24,917	24,917	24,917
中間(当期)未処分利益	6,858	8,148	7,517
<b>利益剰余金合計</b>	<b>34,718</b>	<b>36,007</b>	<b>35,376</b>
その他有価証券評価差額金	45	50	28
<b>自己株式</b>	<b>△ 777</b>	<b>△ 729</b>	<b>△ 757</b>
<b>資本合計</b>	<b>55,082</b>	<b>56,430</b>	<b>55,750</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>90,099</b>	<b>82,860</b>	<b>84,007</b>

(注) 1. 子会社に対する短期金銭債権 183百万円 当中間期 213百万円 前期 161百万円  
 子会社に対する長期金銭債権 67百万円 58百万円 41百万円  
 子会社に対する短期金銭債務 77百万円 35百万円 80百万円  
 子会社に対する長期金銭債務 182百万円 179百万円 179百万円  
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 34,242百万円 34,749百万円 34,190百万円

3. 担保に供している資産 前中間期 5,474百万円 当中間期 5,084百万円 前期 5,267百万円  
 4. 偶発債務 株式会社アニマ・ジャパンの銀行借入に対する保証債務  
 株式会社アニマ・アクティス・ジャパンより商号変更)  
 (平成15年10月株式会社アニマ・アクティス・ジャパンより商号変更)  
 340百万円 365百万円 355百万円  
 1,392,979株 1,317,723株 1,355,323株  
 5. 自己株式の数

# 中間損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
売上高		6,936	6,544	13,721
売上原価		3,417	3,186	6,759
売上総利益		3,518	3,358	6,961
販売費及び一般管理費		768	713	1,476
営業利益		2,750	2,645	5,484
営業外収益		91	74	113
営業外費用		153	126	303
経常利益		2,688	2,593	5,295
特別利益		293	—	293
特別損失		269	865	904
税引前中間(当期)純利益		2,712	1,727	4,684
法人税、住民税及び事業税		1,003	1,129	1,438
法人税等調整額		138	△ 410	656
中間(当期)純利益		1,570	1,008	2,589
前期繰越利益		5,287	7,139	5,287
中間配当額		—	—	359
中間(当期)未処分利益		6,858	8,148	7,517

(注)

	前中間期	当中間期	前期
1. 子会社との取引高			
売上高	516百万円	395百万円	903百万円
仕入高	135百万円	113百万円	297百万円
営業取引以外の取引高	56百万円	0百万円	245百万円
2. 1株当たりの中間(当期)純利益	24円03銭	15円41銭	39円32銭

# 会社の概況

(平成16年9月30日現在)

商号：	株式会社テーオーシー (TOC CO.,Ltd.)		
事務所所在地：	本社 東京都品川区西五反田七丁目22番17号		
資本金：	117億6,819万1,630円		
発行済株式数：	6,677万4,166株		
主な事業内容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフィス、ショッピングビル、流通関連ビル等の経営</li> <li>●ビル、土地ならびに住宅施設等の分譲・販売</li> <li>●催事場、駐車場等の経営</li> <li>●ベンチャー企業の育成ならびに企業への投資</li> <li>●上記事業に関連するIT事業の企画・開発・運営</li> </ul>		
従業員数：	72名		
連結子会社：	●株式会社テーオーリネンサプライ	設立年月日	昭和58年3月18日
		資本金	4億8,000万円
		事業内容	リネンサプライおよびランドリー事業
	●星製菓株式会社	設立年月日	昭和57年3月3日
		資本金	7,500万円
		事業内容	製菓事業
	●株式会社TOL	設立年月日	平成12年11月1日
		資本金	1億円
		事業内容	温泉施設・温浴施設の経営
	●株式会社ROXヘルスプラザ	設立年月日	昭和60年4月3日
		資本金	4億円
		事業内容	スポーツクラブ事業
		※株式会社TOLと株式会社ROXヘルスプラザは、株式会社TOLを存続会社として、平成16年10月1日をもって合併いたしました。	
	●株式会社東京卸売りセンター流通グループ	設立年月日	昭和57年7月22日
		資本金	1,500万円
		事業内容	商品販売、飲食事業
	●株式会社テーオーシーサプライ	設立年月日	昭和45年4月8日
		資本金	2億8,317万円
		事業内容	ビル管理関連サービス事業
	●株式会社アニマ・ジャパン	設立年月日	平成10年6月19日
		資本金	1億円
		事業内容	環境保全および省エネルギー事業
	●株式会社I-TINK	設立年月日	平成12年11月15日
		資本金	2億9,000万円
		事業内容	情報処理関連事業
		※本年度より、株式会社I-TINKを、連結子会社といたしました。	
持分法適用会社：	●大崎再開発ビル株式会社	設立年月日	昭和58年5月6日
		資本金	2億円
		事業内容	建物賃貸・ビル管理業務受託事業等

# 役員

(平成16年12月現在)

代表取締役会長	大谷和彦	取締役	河村修
代表取締役社長	大谷卓男	取締役	岩井和夫
常務取締役	池田 嵩	常勤監査役	長谷修嗣
取締役	羽 廣 元 和	監査役	長 沢 勝 利
取締役	松 崎 良 典	監査役	寺 澤 正 孝
取締役	大 橋 正 夫		

M E M O

---

## 株式会社 テーオーシー

〒141-0031 東京都品川区西五反田七丁目22番17号 Tel.03 (3494) 2111 (代)

URL:<http://www.toc.co.jp/toc/ir/index.html>

---

### 株主メモ

決算期	毎年3月末日
定時株主総会	毎年6月
配当金	毎年3月末日の株主名簿（実質株主名簿を含む。以下同じ）に記載された株主（実質株主を含む。以下同じ）または登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により9月末日最終の株主名簿に記載された株主または登録質権者にお支払いいたします。
株式名義書換 停止期間	(1) 4月1日から4月30日まで (2) 中間配当を行う場合その他必要ある場合はあらかじめ公告して停止いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	貸借対照表および損益計算書は上記ホームページに掲載しております。 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社証券代行部 お問合せ先 0120-232-711（通話料無料） 各種手続用紙のご請求 0120-244-479（通話料無料）
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社全国本支店
株主に対する特典	年1回、3月末日現在の1,000株以上を所有する株主に対し、次の商品あるいは施設利用券を贈呈（選択制）いたします。 (1) 関連会社の取扱う健康食品詰合わせセット (2) 関連会社の取扱う入浴剤・化粧品詰合わせセット (3) 「浅草ROXまつり湯」の特別ご招待券 2枚

---